

## 編集後記

梅雨入りした。日本の雨はしとしとと物静かである。大学院生時代にシンガポールでのシンポジウムに参加し、東南アジアを初めて体験した際、ほぼ毎日、夕方になるとザーッと大雨が降って、サツとやんだ。「これが世に言う熱帯のスコールか!」と当時は感激したのであるが、厳密には暴風を伴わないので、「スコール」とよばないらしいということを知った。

「新構築」とよばれる展示リニューアル作業も、いよいよ今年度が最後となる。現在、中央・北アジアとアイヌ展示場の実施設計が佳境に入っている。11月から来年の3月までは、例年どおり、これらの展示場が一時閉鎖される。永年親しんでいた展示風景もあと半年限り。特に、非常に正確に作られているアイヌの10分の1景観民家模型は撤去されてしまうので、ぜひ夏休みに見納めにご来館ください。

福島県の郡山市立美術館では、巡回展「イメージの力」が6月27日に開幕する。東京、大阪での特別展ほどの規模ではないが、選りすぐりの約360点が再登場。東北にみんぱくパワーをお届けします!

(山中由里子)

●表紙:人形劇ファン・コレックの木彫り人形 民族:スンダ 地域:インドネシア  
標本番号:H0229624ほか  
新しくなった東南アジア展示「芸能と娯楽」セクションに展示中

## 次号の予告

特集

## テーマパーク

## みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

### 国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引に比べ、「月刊みんぱく」や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

### みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

### 国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)

## 月刊みんぱく 2015年7月号

第39巻第7号通巻第454号 2015年7月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信  
編集委員 山中由里子(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子  
丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾  
デザイン 宮谷一孝 長岡綾子  
制作・協力 一般財団法人千里文化財団  
印刷 能登印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。  
\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

### みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

### みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

### みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

